作成者:阿部 友美

| 科 目 名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
|---------|-----|-------------------------|---------|-------|
| メイク実習 I | | 「ビューティコーディネー ター学科/2年 | 2024/通年 | 演習 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 90分 | 60回 | 4単位(120時間) | 必須 | 阿部 友美 |
| | | 13 W 6 III | TF | |

授業の概要

- ・スキンケア、メイクアップの応用を学ぶ
- ・美容部員としての販売技術や説明能力を習得

授業終了時の到達目標

- ・顔立ちに合わせたメイク、お客様の要望に合わせたメイクなどの応用技術を習得する
- ・美容部員としての説明能力の習得

実務経験有無 実務経験内容 美容部員として7年間デパートに勤務 美容部員経験を生かし実務に沿った教育を行う 有

- ・日頃から積極的に応対研究を行う
- ・確認テスト、期末試験に向けて事前準備を行う

| □ | テーマ | 内 容 |
|----------|--|-----------------------------------|
| 1~ | スキンケア応対練習 | ・春夏の季節と肌・肌質の見極め・肌悩みの原因 |
| 13 | | ・美容部員としての印象管理 |
| | <u> </u> | |
| 14~ | サロンワーク実習準備 | ・サロンワーク実習(メイクサロン) 応対練習 |
| 16 | | ・メイクサロン応対確認テスト |
| 17~ | スキンケア応対練習 | ・化粧水販売ロールプレイング実習 |
| 24 | | |
| | | <u> </u> |
| 25~ | 確認テスト | ・前期期末実技試験確認テスト(スキンケア応対ロールプレ |
| 26 | | イング) |
| | 前期期末実技試験 | ┃ ┃・スキンケア応対ロールプレイング(前期穴吹コンテスト第 |
| 27~ | fij対が小大び八両以 | ・スキングア心外ロールフレイング(前期八吹コンテスト第 1課題) |
| 28 | | 「 小人 」 |
| 29~ | ベースメイク応対練習 | ・秋の季節と肌・肌質の見極め・肌悩みの原因 |
| 34 | | |
| <u> </u> | | |
| 35~ | サロンワーク実習準備 | ・サロンワーク応対練習(合同授業) |
| 36 | | |
| 07 | ベースメイク応対練習 | ・秋冬の季節と肌・肌質の見極め・肌悩みの原因 |
| 37~ | | ・5分間タッチアップ |
| 51 | | |
| 52~ | サロンワーク実習準備 | ・サロンワーク実習(メイクサロン)応対確認テストモデル |
| 53 | | ・ボディジュエリー実習(合同授業) |
| | * フリノカ☆≒ /≠33 | - タの手体に叩し叩旋の目标は、叩がさの声中 |
| 54~ | ベースメイク応対練習 | ・冬の季節と肌・肌質の見極め・肌悩みの原因 |
| 55 | | ・5分間タッチアップ |
| 56~ | 確認テスト | ・後期期末実技試験確認テスト(ベースメイク販売ロールプ |
| 57 | Company of the transfer of the | レイング) |
| ا3 | | · · · · · · · |
| 58~ | 後期期末実技試験対策 | ・モノトーンメイク実習(穴コン対策) |
| 59 | | ・ベースメイク販売ロールプレイング(穴コン対策) |
| | | ・ベーフメノカ販主ロールポーノンが/処理点点・ニュー |
| 60 | 後期期末実技試験 | ・ベースメイク販売ロールプレイング(後期穴吹コンテスト |
| 00 | | 第1課題) |
| | | L |

| 回 テーマ | 内 | 容 | |
|--------|----------------------|------------------|------------------------------------|
| 教科書・教材 | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| | 期末試験 確認テスト 出席率 | 20. 0% 10. 0% | 皮膚に直接触れるもの(アルコール等)については使用時乾燥かぶれ等注意 |

作成者:大西 歩未

| 科 目 名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
|-------|-------|----------------------------|---------|-------|
| ネイル | レ実習 I | │ ビューティコーディネー │ ター学科/2年 | 2024/通年 | 演習 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 90分 | 60回 | 4単位(120時間) | 必須 | 大西 歩未 |

- 授業の概要 ・ネイルに関する専門的知識と技術、ペディキュア技術を含めた総合的知識、サロンワークで通用する ネイル技術を学ぶ ・ネイルアート作品制作

授業終了時の到達目標

・ネイリスト技能検定試験1級合格又は合格レベルの知識と技術習得

| 実務経験有無 | 実務経験内容 |
|--------|--|
| 有 | 日本ネイリスト協会常任本部認定講師として協会活動に従事し、検定試験官、コンテスト ト審査員、セミナー講師等19年の認定講師経験を生かした教育を行う |

時間外に必要な学修

検定記述試験に向けた過去問題の答練 検定実技試験に向けた自主練習

| المركا | | |
|--------|---|---|
| □ | テーマ | 内 容 |
| 1~ | ネイル実技 | ・学内予選に向けてのネイル技術 |
| 6 | | ・学内予選 |
| 7~ | ミックスメディアアート | ・3Dアートの作り方 |
| ' | | ・ミックスメディアアート制作 |
| 10 | | 1.11 |
| 11~ | ネイルアート | ・ブライダルネイル作品とボード制作 |
| 16 | | ・サロンワークのアートサンプル制作 |
| 17~ | 前期期末実技試験対策 | ・前期期末実技試験内容での実技 |
| 18 | | |
| | - 1/- | |
| 19~ | フットケア | ・足のトラブルについて |
| 22 | | ・フットケア実技 |
| 23~ | 前期期末実技試験対策 | ・前期期末実技試験内容での実技 |
| 24 | | |
| 0.5 | 確認テスト | ┃ ・前期期末実技試験内容での実技確認テスト |
| 20.0 | 11年100 / 八丁 | 門別別不大文成員だってい大文唯心・ハー |
| 26 | | |
| 27~ | 前期期末実技試験 | ・前期期末実技試験内容での実技試験 |
| 28 | | |
| 29~ | 検定対策 | ・検定試験内容での実技 |
| 38 | 1347-27-37-14 | |
| | 4 7 1 - 1 | |
| 00 | ネイルアート | ・テーマに沿った作品制作(クリスマスアート) |
| 40 | | |
| 41~ | 特別授業 | ・卒業生特別授業 |
| 42 | | |
| | ネイルアート | ┃ ┃・テーマに沿った作品制作(キャラクターネイル、サロン ┃ |
| 10 | | ・ケーマに治ったTFmmTF(キャラグダーネイル、リロン アート) |
| 47 | | , , |
| 48~ | サロンワーク | ・1年生へのサロンワーク技術指導と接客トレーニング |
| 49 | | |
| 50~ | 後期期末実技試験対策 | ・後期期末実技試験内容での実技 |
| 50~ | | NAME OF TAXABLE AND A STATE OF TAXABLE AND A |
| 54 | | |
| | | |

| 回 テーマ | 内 | 容 | |
|---------------------|---------------------------------|------------------|--|
| 55~ 確認テスト 56 | ・後期期末実技試験内容で <i>0</i> |)実技確認テ | スト |
| 57~ 後期期末実技試験 60 | ・後期期末実技試験内容で <i>0</i> |)実技試験 | |
| 教科書・教材 | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| ・JNAテクニカルシステムベーシック | 期末試験 確認テスト 出席率 課題・レポート | 10. 0% 10. 0% | ・ネイル材料については火気厳禁・皮膚に直接触れるもの(アルコール類)については使用時乾燥等注意・ |

作成者:大久保 たまき

| 7.1 | | 11/ # 1 / 11/ L | <u> </u> | 11 /3/ 11 / / / / / / / C O C |
|------|------|----------------------------|----------|-------------------------------|
| 料目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
| メイク | 7実習Ⅱ | │ ビューティコーディネー │ ター学科/2年 | 2024/通年 | 演習 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 90分 | 60回 | 4単位(120時間) | 必須 | 大久保 たまき |

授 業 の 概 要

- ・フォトンテスト出品作品を制作することで作品作りのプロセスを理解する
- ・撮影用のメイクなどの応用メイクを習得することで様々な場面で対応できるようになることはもちろん改めて基本のスキル向上を養う

授業終了時の到達目標

- ・フォトコンテストでの入賞を目指し、撮影用等のメイクを習得
- ・基本のメイクから、コンテスト撮影などへアメイクの応用力を習得

実務経験有無実務経験内容

有

美容室勤務4年目、現役で美容業に従事しながらサロン内外で行っている作品撮りの経験 を活かし実務に沿った教育を行う

時間外に必要な学修

・各課題に向けて事前のリサーチ、準備を行う

| | テーマ | 内容 |
|-------------------|---------------------------|---|
| 1 | シラバスの説明 動機付け 作品撮影の基礎 | ・シラバスの説明 動機付け 作品撮影の基礎 |
| 2 ~ 9 | ICAMメイクアップフォトコンペティ ション | ・プレゼンシート作成、ラフ案チェックと実習・ヘアメイクと撮影 |
| 10~ 20 | ケサランパサランフォトコンテスト | ・プレゼンシート作成、ラフ案チェックと実習 ・ヘアメイクと撮影 |
| 21~ 25 | ラグゼビューティヘアメイクフォト コンテスト | ・プレゼンシート作成、ラフ案チェックと実習 |
| 26~ 30 | テーマカラーに沿った作品制作、撮影① | ・作品制作、撮影(前期穴吹コンテスト第2課題) |
| 31 ~ 36 | テーマに沿った作品制作② | • 作品制作 |
| 37 ~ 40 | 撮影② | 作品制作撮影 |
| 41~ 44 | 修了制作 | ・デッサン作成・作品制作 |
| 45~ 48 | 修了制作 | 作品制作撮影 |
| 49 ~ 54 | 後期期末実技試験対策 | ・プレゼンシート作成、デッサン作成・モノトーンメイク実習 |
| 55 ~ 56 | 確認テスト | ・モノトーンメイク確認テスト |
| 57 ~ 58 | 後期期末実技試験 | ・モノトーンメイク(後期穴吹コンテスト第2課題) |
| 59~ 60 | 後期期末実技試験モデル | ・1年生第1課題モデル |

| 回 テーマ | 内 | 容 | |
|--------|-------|-------|-----------|
| 教科書・教材 | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| | 期末試験 | 70.0% | 皮膚に直接触れる |
| | 確認テスト | 20.0% | もの(アルコール |
| | 出席率 | 10.0% | 等)については使用 |
| | | | 時乾燥かぶれ等注 |
| | | | 意 |
| | | | |

作成者:川添 たかえ

| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
|------|------|----------------------------|---------|--------|
| ネイル | レ実習Ⅱ | │ ビューティコーディネー │ ター学科/2年 | 2024/通年 | 演習 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 90分 | 60回 | 4単位(120時間) | 必須 | 川添 たかえ |

授業の概要 ・スカルプチュアネイルに関する知識と技術を学ぶ

授業終了時の到達目標

・ネイリスト技能検定試験1級合格又は合格レベルの知識と技術習得

| 実務経験有無 | 実務経験内容 |
|--------|--|
| , | ネイリストとしてサロンワーク歴28年、ネイル講師歴25年 JNA常任本部認定講師としても活動し、それらの経験を生かし実務に沿った教育を行う |

| | テーマ | 内 | 容 | |
|-------------------|--------------------|---------------------------------|------------------|-----------------------------------|
| 1~ 2 | アクリルネイルの基礎知識 | ・イクステンションの種類 と ・化学重合の仕組み | ≤用具用材の | 使用方法と注意点 |
| 3 ~ 5 | スカルプチュア実技 | ・ネイルフォームの仕込み と ・フリーエッジを作る | | |
| 6~ 9 | スカルプチュア実技 | ・アプリケーション(ハイポ ・ピンチングのタイミング | イントを作る | 3) |
| 10 ~ 11 | チップオーバーレイ | ・チップの仕込みと装着の2 ・アプリケーションテクニッ | | |
| 12~ 20 | チップオーバーレイ実技 | ・アプリケーション~ファイ | イリングテク | ニック |
| 21~ 27 | 検定試験対策 | ・検定要項の説明と合格ポー ・1級試験内容での実技 | イント | |
| 28~ 30 | 確認テスト | ・トレーニングハンドを使し オーバーレイ2本を完成させ | | カルプチュア5本 |
| 31~ 40 | 検定試験対策 | ・1級試験内容での実技 ・タイムトライ | | |
| 41~ 44 | 確認テスト | ・120分でスカルプチュア5z 成させる | ト、チップオ | ーバーレイ2本を完 |
| 50 | 検定試験対策 確認テスト | ・1級試験内容での実技と筆 | 記 | |
| 51~ 60 | 確認テスト デザインスカルプ他 | ・穴吹コンテスト対策 ・サロンワーク対応作品・ヨ | Eデルでの技 | 術対応 |
| | 教科書・教材 | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| - JNA | テクニカルシステムアドバンス | 期末試験 確認テスト 出席率 | 70. 0% 20. 0% | 皮膚に直接触れるもの(アルコール類)については使用時乾燥かぶれ注意 |

作成者:栗尾 都

| 7.1 | | 受利 / 受在 | <u> </u> | |
|------|-------|------------------------|----------|------|
| 科 | 目 名 | 学科/学年 年度/時期 | | 授業形態 |
| エステテ | ィック実習 | ビューティコーディネー ター学科/2年 | 2024/前期 | 演習 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 90分 | 25回 | 2単位(50時間) | 必須 | 栗尾都 |

授 業 の 概 要

- ・エステティックの基礎を学び、実践できる力を養う
- ・女性らしい立居振る舞いを、技術を通して身につける

授業終了時の到達目標

- フェイシャルエステティックの一通りの流れができるようになる
- ・身体の部位別ボディマッサージができるようになる
- ・お客様に好感を持ってもらえるような立居振る舞いができるようになる

| 実務経験有無 | 実務経験内容 |
|--------|--|
| | エステティシャンとして9年、講師として14年(内9年は認定講師)、鍼灸師、あん摩マッサージ指圧師の国家資格保持者としての経験を活かし、実務に沿った教育を行う |

| 口 | テーマ | 内 | 容 | | |
|-------------------------|------------------------|---|------------------|--|--|
| 1 | エステティック技術の基本と事前準 備 | ・エステティック施術の流れを理解する ・事前準備を学習し実践できるようになる | | | |
| 2~ 6 | ボディエステティック | ・マッサージ技術の習得(下肢後面) | | | |
| 7 ~ 9 | ボディエステティック | ・マッサージ技術の習得(B ・ホットストーンを使用し <i>f</i> | | の習得 | |
| 10 ~ 13 | ボディエステティック | ・ボディ機器の使用方法を特になる | 学習し、適切 | に使用できるよう | |
| 14 ~ 15 | ボディエステティック | ・フットマッサージ技術の習得 | | | |
| 16 ~ 19 | フェイシャルエステティック | ・フェイシャル技術の習得(クレンジング・マッサージ・ パック) | | | |
| 20~ 23 | フェイシャルエステティック | ・座位でできる肩マッサーシ サージを習得する | ジとフェイシ | ヤルリンパマッ | |
| 24~ 25 | 確認テスト | ・ボディマッサージ(下肢征 | 後面)確認テ | スト | |
| | 教科書・教材 | 評価基準 | 評価率 | その他 | |
| ・新エステティック学 技術編 I・配布プリント | | 確認テスト 授業態度 出席率 | 70. 0% 20. 0% | 皮膚に直接触れる もの(アルコール 類)については使用 時乾燥かぶれ等注 意 | |
| | | | | | |

作成者:阿部 友美

| 科目名 | | 学科/学年 年度/時期 | | 授業形態 |
|------|------|------------------------|---------|-------|
| メイク | セラピー | ビューティコーディネー ター学科/2年 | 2024/通年 | 講義 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 90分 | 35回 | 4単位(70時間) | 必須 | 阿部 友美 |

授 業 の 概 要

- メイクセラピーの概念を理解する
- ・関連業界でセカンドライセンスとしてメイクセラピーを活用できる知識と技術を養う

授業終了時の到達目標

- ・メイクセラピー2、3級合格
- ・クライアントのなりたい印象、オーダーに伴ったメイクアップが施術できる

| 実務経験有無 | | 実務経験内容 |
|---------------------------------------|-------------------|-----------------------|
| 有 | 美容部員として7年間デパートに勤務 | 美容部員経験を生かし実務に沿った教育を行う |
| 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | | |

時間外に必要な学修

・メイクセラピー検定に向けて授業の復習を行う

| □ | テーマ | 内 容 |
|-------------------|-----------------------------|--|
| 1~ 8 | メイクセラピー検定3級対策 確認テスト | ・メイクセラピーの事例・カウンセリング概論・顔と心と 化粧の関係・スキンケア概論・メイクアップ概論 |
| 9 | メイクセラピー検定3級 | ・授業内検定試験実施(WEB試験) |
| 10 | 美容学科コラボ授業① | ・メンズメイク実習 |
| 11~ 13 | メイクセラピー検定2級筆記試験対 策 確認テスト | ・化粧心理学・メイクセラピー的心理学・カウンセリング 概論・印象管理・メイク理論 |
| 14 | 前期期末試験 | ・期末試験対策 ・前期期末試験 |
| 15 ~ 19 | メイクセラピー検定実技試験対策 | ・オーダーに伴ったメイクアップ実習・マナー面の採点ポイント |
| 20 | 美容学科コラボ授業② | ・ヘアアレンジ実習(モデル) |
| 21~ 24 | メイクセラピー検定実技試験対策 | ・オーダーに伴ったメイクアップ実習・マナー面の採点ポイント |
| 25 ~ 26 | 確認テスト | ・メイクセラピー検定2級筆記、実技試験確認テスト ・オーダーに伴ったメイクアップ |
| 27 ~ 28 | メイクセラピー検定2級筆記試験対 策 | - 論述問題対策 |
| 29 | 確認テスト | ・後期期末試験確認テスト |
| 30~ 31 | 後期期末試験 | ・期末試験対策 ・後期期末試験 |
| 32 | 検定対策 | ・メイクセラピー検定2級筆記対策 |
| 33 ~ 35 | メイクセラピー検定2級 | ・授業内検定試験実施(筆記、実技) |

| 回 テーマ | 内 | 容 | |
|---|----------------------|------------------|--|
| 教科書・教材 | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| ・メイクセラピー入門3級対策テキスト ・メイクセラピー検定2級対策 ・配布プリント | 期末試験 確認テスト 出席率 | 20. 0% 10. 0% | 皮膚に触れるもの (アルコール等)に ついては使用時乾 燥やかぶれ等に注 意 |

作成者:大西 歩未

| | | | | <u> </u> |
|------|-------|----------------------------|---------|----------|
| 科 | 目 名 | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
| ジェルネ | トイル実習 | │ ビューティコーディネー │ ター学科/2年 | 2024/通年 | 演習 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 90分 | 35回 | 2単位(70時間) | 必須 | 大西 歩未 |

授業の概要 ・ジェルグラデーション、ジェルフレンチカラーリング、ジェルイクステンション技術を学ぶ

授業終了時の到達目標

- ・ジェルネイル技能検定試験中級合格
- ・ジェルネイル技能検定試験上級合格又は合格レベルの知識と技術習得

実務経験有無 実務経験内容

有

日本ネイリスト協会常任本部認定講師として協会活動に従事し、検定試験官、コンテス ト審査員、セミナー講師等19年の認定講師経験を生かした教育を行う

時間外に必要な学修

検定記述試験に向けた過去問題の答練

検定実技試験に向けた自主練習

| □ | テーマ | 内 容 | | | | | |
|-----|------------------|----------------------------|--|--|--|--|--|
| 1~ | ジェルネイル実技 | ・ジェルイクステンション | | | | | |
| 2 | | | | | | | |
| 3~ | ジェルネイル実技 | ・ジェルグラデーション | | | | | |
| 4 | | ・ジェルフレンチカラーリング | | | | | |
| 5~ | 検定対策 | ・ジェルネイル検定中級内容での実技と筆記試験対策 | | | | | |
| 9 | | | | | | | |
| 10~ | 確認テスト | ・ジェルネイル検定中級内容での実技確認テスト | | | | | |
| 12 | | ・筆記模擬テスト | | | | | |
| 13~ | 検定対策 | ・実技試験に向けた最終チェック | | | | | |
| 14 | | | | | | | |
| 15~ | ジェルネイル検定中級 | ・実技試験 | | | | | |
| 18 | | ・筆記試験 | | | | | |
| 19~ | ジェルアート | ・ジェルネイル検定上級に向けたアートのデモンストレー | | | | | |
| 20 | | ションと実技 | | | | | |
| 21~ | ジェルクリアスカルプチュア | ・デモンストレーション | | | | | |
| 22 | ジェルチップオーバーレイ | ・実技 | | | | | |
| 23~ | ジェルチップオーバーレイ(フレン | ・デモンストレーション | | | | | |
| 24 | チ・デザイン) | ・実技 | | | | | |
| 25~ | 検定対策 | ・ジェルネイル検定上級内容での実技試験対策 | | | | | |
| 30 | | | | | | | |
| 31~ | 確認テスト | ・ジェルネイル検定上級内容での実技確認テスト | | | | | |
| 32 | | | | | | | |
| 00 | 検定対策 | ・実技試験に向けた最終チェック | | | | | |
| 33 | | | | | | | |
| 34~ | ジェルネイル検定上級 | ・実技試験 | | | | | |
| 35 | | | | | | | |
| | | <u> </u> | | | | | |

| 回 テーマ | 内 | 容 | |
|---------|---------|--------|----------|
| 教科書・教材 | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| ・配付プリント | 確認テスト | | |
| | 課題・レポート | 20. 0% | ては火気厳禁、保 |
| | 出席率 | 10. 0% | |
| | | | 光や高温多湿を避 |
| | | | ける。皮膚に直接 |
| | | | 触れるもの(アル |

| 科 | 目 名 | 受利 / 学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
|----------|-------|-------------------------|---------|----------|
| <u> </u> | | | | 1文未/// 总 |
| パーソフ | トルカラー | トピューティコーティベー ター学科/2年 | 2024/通年 | 講義 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 90分 | 22回 | 3単位(44時間) | 必須 | 上杉 康代 |

授業の概要 ・美容業界で活用できる色彩知識とパーソナルカラーに関連のある総合的な技能及び理論を学ぶ

授業終了時の到達目標

・色彩技能パーソナルカラー検定モジュール2合格

| 実務経験有無 | 実務経験内容 |
|--------|--------|
|--------|--------|

有

商品開発職として通信販売会社に6年勤務 その商品開発職で培った色彩知識を生かし検定合格を目指した教育を行う

- ・配色カード演習や雑誌等からのコラージュを行う
- ・授業内容を復習することに加え、日々美容やファッションを中心に色彩に興味を持つ

| □ | テーマ | 内容 |
|-------------------|----------------------------|--|
| 1 | パーソナルカラーアナリストの基礎 知識 | ・色の調整効果、共通心理と個別心理について理解する |
| 2 ~ | 表色系①② | ・PCCSを理解する ・マンセル表色系を理解する |
| <u> </u> | <i>D. D</i> | |
| 4 | 色名 | ・代表的な慣用色名を知る |
| 5 | 色の属性と効果 | ・色の属性が顔の見え方に与える影響を理解する |
| 6~ 8 | 色が見えるしくみとパーソナルカ ラー①~③ | ・光源、物体、目の構造と働き、混色について理解する |
| 9 | 色彩調和論 | ・代表的な3つの色彩調和論を知る |
| 10 | 前期期末試験 色覚特性と加齢による色覚の変化 | ・前期期末試験 ・ユニバーサルカラーを理解する |
| 11 ~ 12 | 配色法①② | ・アナロジー配色とコントラスト配色を理解する ・色相の分割による配色法を理解する |
| 13 ~ 16 | フォーシーズン分類①~④ | ・春、夏、秋、冬の主な属性とイメージを理解する |
| 17 | フォーシーズンのアレンジ | ・各シーズンの主なイメージを超えた幅広いコーディネートができるようになる |
| 18 ~ 20 | 過去問答練①~③ | ・過去問題を解き検定問題の傾向を知る |
| 21 | 後期期末試験 パーソナルカラー分析診断の進め方 | ・後期期末試験 ・実際のパーソナルカラー分析診断の進め方を学ぶ |
| 22 | モジュール2検定対策 | ・過去問題から正解率の低い問題を中心に再度解く等、本 番に備える |

| 回 テーマ | 内 | 容 | |
|------------------------------|---------|--------|-----|
| 教科書・教材 | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| ・色彩技能パーソナルカラー検定公式テキ | | 70.0% | |
| ストモジュール2 | 出席率 | 10. 0% | |
| 新配色カード199a | 授業態度 | 10. 0% | |
| ・パーソナルカラー配色カード | 課題・レポート | 10. 0% | |
| | | | |
| | | | |

作成者: 阿部 友美

| 7.1 | | W # 1 4 W /- | <u> </u> | |
|-------|-----|----------------------------|----------|-------|
| 料 目 名 | | 科 目 名 学科/学年 年度/時期 | | 授業形態 |
| 化粧品学 | | │ ビューティコーディネー │ ター学科/2年 | 2024/通年 | 講義 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 90分 | 25回 | 3単位(50時間) | 必須 | 阿部 友美 |

- 授業の概要・化粧品の成分、製品の種類や働きについて学ぶ
- ・化粧品の歴史、法律などの幅広い知識を身につける

授業終了時の到達目標

日本化粧品検定1級合格

実務経験内容 美容部員として7年間デパートに勤務 美容部員経験を生かし実務に沿った教育を行う 実務経験有無 有

時間外に必要な学修

・日本化粧品検定に向けて授業の復習を行う

| | テーマ | 内 | 容 | | | |
|---------------------------------------|-------------|--|----------------------------|-----|--|--|
| 1~ 6 | 日本化粧品検定1級対策 | ・日本の歴史・化粧品の原料・スキンケア化粧品・ボディ 化粧品・ヘアケア製品・ネイルの構造 | | | | |
| 7 | 確認テスト | ・前期期末試験確認テスト | | | | |
| 8 | 前期期末試験 | ・期末試験対策 ・前期期末試験 | | | | |
| 9~ 22 | 日本化粧品検定1級対策 | 香りの成分と働き・オーラルケア・サプリメント・化粧品にまつわるルール | | | | |
| 23 | 確認テスト | ・後期期末試験確認テスト | | | | |
| 24 | 後期期末試験 | ・期末試験対策 ・後期期末試験 | | | | |
| 25 | 日本化粧品検定1級対策 | ・日本化粧品検定1級対策 | | | | |
| | 教科書・教材 | 評価基準 | 評価率 | その他 | | |
| ・日本化粧品検定2級、3級テキスト ・日本化粧品検定1級対策テキスト | | 期末試験 確認テスト 出席率 | 70. 0% 20. 0% 10. 0% | | | |

作成者: 阿部 友美

| 科 目 名 | | 科 目 名 学科/学年 年度/時期 | | 授業形態 | | |
|----------|-----|----------------------------|---------|-------|--|--|
| サロンワーク実習 | | │ ビューティコーディネー │ ター学科/2年 | 2024/通年 | 演習 | | |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 | | |
| 90分 | 30回 | 2単位(60時間) | 必須 | 阿部 友美 | | |
| | | | | | | |

授業の概要 ・サロンワークを通じて外部のお客様と接することにより技術だけではなく接客マナーを含めたサロン ワーク技術を学ぶ

授業終了時の到達目標

・就職時に即戦力となれるようプロの接客技術を習得

実務経験内容 美容部員として7年間デパートに勤務 美容部員経験を生かし実務に沿った教育を行う 実務経験有無 有

時間外に必要な学修

・サロンワーク実習における応対練習

| 回 | テーマ | 内 | 容 | | |
|------------------|--------|---|----------------------------|--|--|
| サロンワー 1 接客マナー | | ・全体、各サロン別ミーティング・サロンワーク準備 | | | |
| 2~ サロンワー 15 | -ク実践 | ・接客技術チェック ・サロン実務・レポート作成 | | | |
| 16~ サロンワー 23 | -ク実践 | ・全体、各サロン別ミーティング・接客技術チェック ・サロン実務・レポート作成 | | | |
| 24~ サロンワー 30 | -ク実践 | ・全体、各サロン別ミーティング・接客技術チェック ・サロン実務・レポート作成 | | | |
| 教 | マ科書・教材 | 評価基準 | 評価率 | その他 | |
| ・配布プリント | | 課題・レポート 出席率 授業態度 | 40. 0% 30. 0% 30. 0% | 皮膚に直接触れる もの(アルコール 類)については使用 時乾燥かぶれ等注 意 | |

作成者:南 敦子

| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 | | |
|-------|-----|----------------------------|---------|------|--|--|
| 接客マナー | | │ ビューティコーディネー │ ター学科/2年 | 2024/前期 | 講義 | | |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 | | |
| 90分 | 15回 | 2単位(30時間) | 必須 | 南 敦子 | | |
| | | | | | | |

授業の概要 いち社会人としてかつビューティに携わるプロとしての接客マナーの知識と技術を学ぶ サービス接遇検定準1級を取得する

授業終了時の到達目標

- 1. 社会人としての心構えを持つ
- 2. ビューティ業界におけるプロとして感じのよい接客ができる
- 3. サービス接遇検定準1級合格

実務経験有無 実務経験内容

時間外に必要な学修

授業資料を参考に、次回の予習をしておく

| | テーマ | 内 | 容 | | |
|-------------------|----------------------------|---------------------------------|----------------------------|-----|--|
| 1 | サービス接遇検定2・準1級について | 検定内容についての説明 掲示文の作成の説明、練習 | | | |
| 2 ~ 7 | サービス接遇検定2級過去問題 | サービス接遇検 2 級過去問題 解答・解説 | | | |
| 8 | サービス接遇検定準1級面接練習 第1課題 | 準1級面接試験 第1課題 あいさつ・基本言動 | | | |
| 9 | サービス接遇検定準1級面接練習 第2課題 | 準1級面接試験 第2課題 接客応答 | | | |
| 10 | サービス接遇検定準1級面接練習 第3課題 | 準1級面接試験 第3課題 接客対応 | | | |
| 11 ~ 12 | サービス接遇検定準1級面接練習 ロープレ | 準1級面接試験 第1課題~第3課題 ロープレ | | | |
| 13 | サービス接遇検定準1級面接 ロープレ確認テスト | 準1級面接試験 第1課題〜第3課題 ロープレ 確認テスト | | | |
| 14 | サービス接遇検定準 1 級面接 直前対策 | | | | |
| 15 | 接客対応ロープレ | サロンでの対応ロープレ | | | |
| | 教科書・教材 | 評価基準 | 評価率 | その他 | |
| サート | ごス接遇検定1ー2級実問題集 | 実習・実技評価 課題・レポート 出席率 | 50. 0% 40. 0% 10. 0% | | |